

別記様式第11

平成22年度地域木造住宅市場活性化推進事業費補助金成果報告書

1. 事業名

「プレカット工場と地域工務店との連携により、地域材を活用した優良な木造住宅の普及を図る。(目標：長崎県の持ち家供給戸数の10%を目指す)」

2. 事業実施期間

平成22年6月11日 ～ 平成23年2月28日

3. 事業主体

長崎すて木な家づくりの会

4. 事業の成果

① 地域材を活用しデザイン性の優れた木造住宅を開発する。

地元工務店様と共に、地域材の品質を活かし、デザイン性に優れた住宅の開発を行い、当該住宅を紹介したパンフレットを製作した。パンフレットの中では、木造住宅の構造紹介、森から木材への道のりを紹介し、消費者が木造の住宅に興味を持って頂けるような内容となっている。今後国産材・地域材を活用した木造住宅の普及を図るにあたり、必要な営業ツールの開発を行うことができた。

また下記②の展示場では地元工務店が開発した木造住宅の紹介フォト集を作成し、消費者に対しPRする場を設けている。

② 消費者に木の使い方を分かり易く提案できる展示モデルを整備する。

国産材・地域材を利用した住宅の普及を図るためには、まず住宅を建てる消費者自身に国産材・地域材の魅力を知ってもらうことが必要と考え、消費者に木の使い方(色合い、納まり、木の魅力)を分かり易く提案する展示場を整備した(展示場名称：木のコトミュージアム、平成23年4月末オープン予定)。

展示場内には、国産材・地域材の実物を展示し、森から住宅資材として利用されるまでの木材の道のり

を紹介する展示スペースを設け、映像を使った説明資料としてDVDを製作した。また同DVD

のドキュメンタリーを平成 23 年 2 月 19 日地元メディアで放送し、国産材・地域材を使用した家づくりの広報活動を実施した。

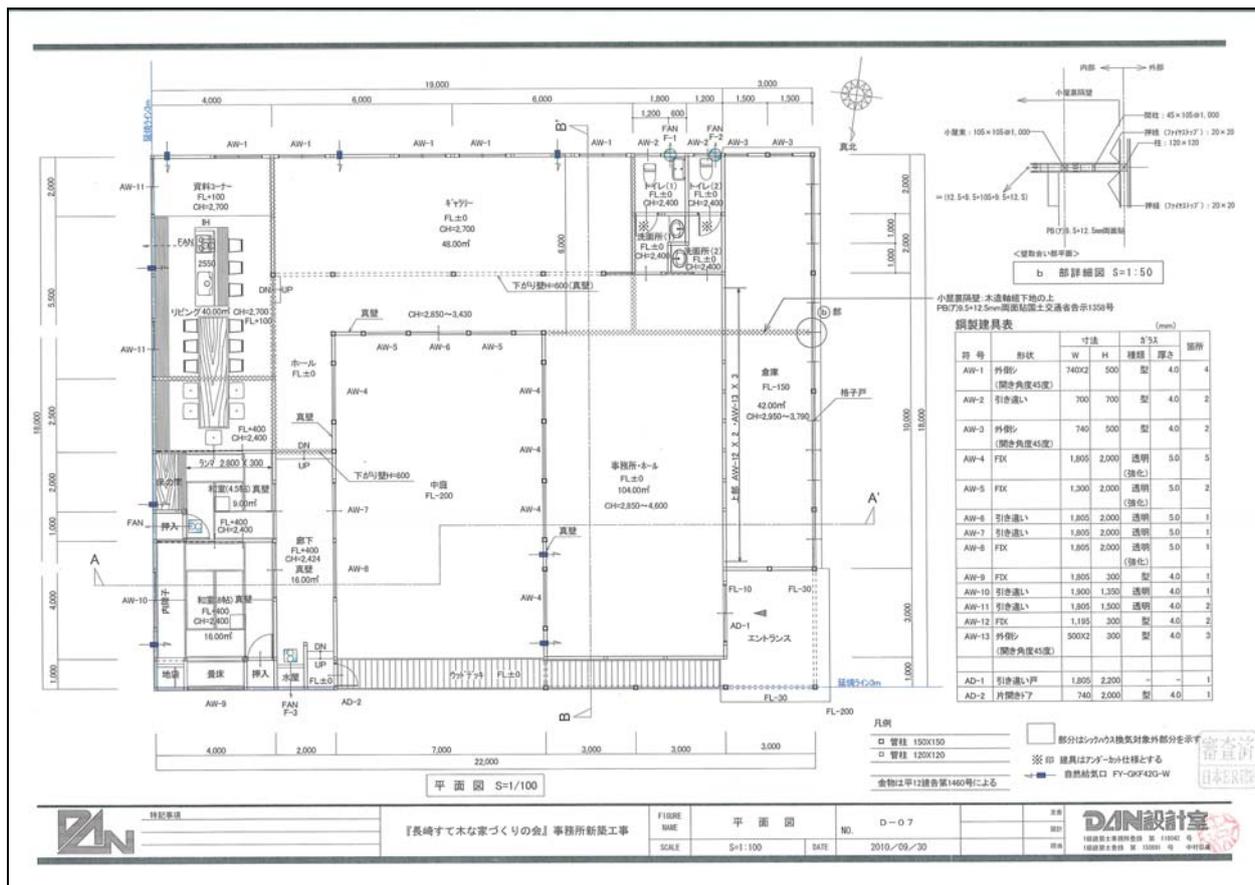
展示場オープン後は、定期的にイベント開催・広告をだし、来場者に国産材・地域材の魅力、安全性、耐震性を伝え、国産材・地域材を活用した優良な木造住宅の普及促進を図り実績をあげていきたいと考えている。



(図1) 木のコトミュージアム



(図2) 木のコトミュージアム



(図3) 木のコトミュージアム平面図

③ 住宅履歴システム実用普及事業

平成22年5月より、住宅履歴システム運用マニュアル及び普及促進のための資料を作成し、加盟工務店の勧誘をスタートした。加入頂いた会員様には、当社会議室にお集まり頂き、住宅履歴システムの概要、必要性等を研修し、会員工務店様経営トップの方にシステムについての理解を深めて頂いた。その後は、会員様の実務者（オペレーター）の方に対しシステム等の操作方法等の研修を行うため、各社を訪問し実運用開始のお手伝いをした。

会員様の中には、住宅履歴システムの運用を開始するにあたり、社内及び現場に関係するすべての協力業者様がどのような役割を担うのか（誰がどの部分の写真を撮影するのか、その撮影方法、日報ルール等）を明確にした運用体制構築のマニュアルを作成する等の成果を出している。

以上の研修を経て7月より本格的に住宅履歴システム専用のサーバを導入し、会員工務店様22社に対し実運用を開始した。その後現在までに102棟の住宅履歴を蓄積する実績をあげている。



(図4) 研修風景